

志賀原子力発電所 低レベル放射性廃棄物の輸送における
固体廃棄物貯蔵庫 天井クレーンの不具合について

2023年9月12日（火）7時54分、志賀原子力発電所の低レベル放射性廃棄物^{※1}の輸送に伴う搬出作業の事前準備のため、固体廃棄物貯蔵庫の天井クレーンを操作したところ、非常停止に係る警報が発生し、当該クレーンが停止しました。

調査の結果、当該クレーンの駆動用電動機にある2種類のブレーキ（機械的ブレーキ^{※2}、電氣的ブレーキ^{※3}）のうち、機械的ブレーキのハンドルが誤った状態に取り付けられていたことから、機械的ブレーキが機能しない状態となっていました。そのため、当該クレーンは、電氣的ブレーキにより十分に減速したものの、通常の停止位置を超えて停止したことを確認しました。その後、当該ハンドルを正規の状態に取り付け直し、当該クレーンを復旧しました。

今後は、当該ハンドルを誤った状態に取り付けることがないように、作業手順を明確にするなどの対策を講じていきます。

当該クレーンの不具合により、低レベル放射性廃棄物の輸送計画に変更が生じましたが、翌日、低レベル放射性廃棄物の搬出を問題なく完了しております。（9月13日お知らせ済み）

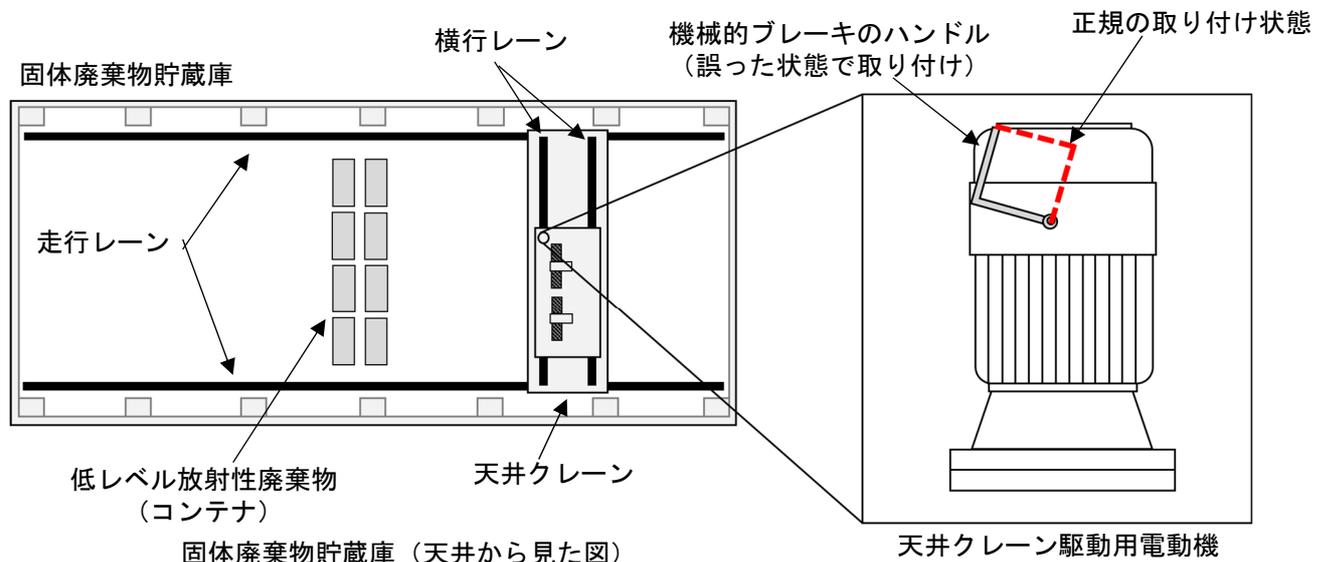
なお、本事象による外部への放射能の影響はありません。

※1 原子力発電所で発生する放射性物質の濃度の低い廃棄物。

（輸送する廃棄物は、発電所で発生した金属やプラスチック、フィルタ類などの固体状の廃棄物を種類毎に分別し、ドラム缶に収納した後、セメント系充てん材（モルタル）で固めたもの。）

※2 クレーンの駆動用電動機の回転を摩擦の力により止めるブレーキ。

※3 クレーンの駆動用電動機の回転を電氣的の制御により止めるブレーキ。



固体廃棄物貯蔵庫 天井クレーン概略図